

第35回伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト 入賞作品決定



最優秀賞（宮城県知事賞）「この光景・未来へ続け」佐藤 浩章 福島県南相馬市（敬称略）

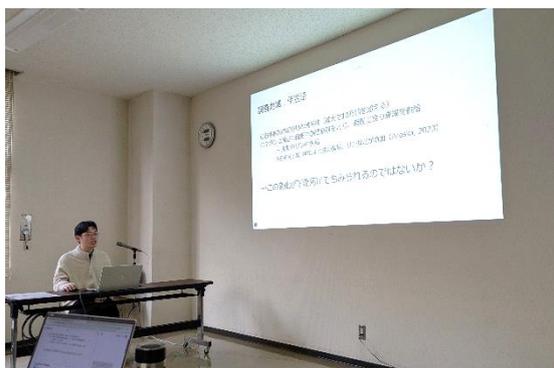
今年のフォトコンテストは、ラムサール条約湿地登録40周年を記念して特別に撮影地や撮影時期を拡大して実施されました。

当センターでは、2月1日から入賞作品のほか、応募全作品を展示していますので是非ご来館ください。また、右のスケジュールにより入賞作品の巡回展示を行います。

写真展スケジュール

期間	会場	展示内容
2/1~3/25	宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター	全作品
5/1~5/27	登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター	入選作品
6/1~6/28	登米市役所 1階ロビー	入選作品
7/1~7/28	栗原市役所 1階ロビー	入選作品
8/1~8/26	JRくりこま高原駅オアシスセンター	入選作品

伊豆沼・内沼研究集会が開催されました



発表を行う東北大学の学生

2月7日、当センターで「第19回伊豆沼・内沼研究集会」が開催されました。今回は計8題の発表があり、今年度から伊豆沼・内沼での調査を開始した東北大学（宇野研究室）のグループが参加するなど、新しい視点からの報告が相次ぎました。

中でも地元の築館高校からは、県北地域の遺跡から出土したガンカモ類の骨の分析について報告がありました。数千年前、この地で暮らしていた私たちの祖先が、渡り鳥たちとどのように関わって生きてきたのか——、そんな悠久の時に思いを馳せる、大変興味深い内容でした。今後も伊豆沼・内沼が、こうした多様な研究の中核地として注目を集めていくことが期待されます。

第21回伊豆沼・内沼自然再生協議会、登米市の石越公民館で開催

2月7日に開催されたこの会議では、当財団が宮城県や環境省と連携して行っている保全事業の報告や、宮城県環境対策課による水質調査の結果報告が行われました。報告の中で、水質の悪化や温暖化の影響により、沼ではヒシやハスが過剰に繁茂している現状が指摘されました。これによって水中の酸素（溶存酸素）が減少し、魚や貝などの生き物への悪影響が出始めていることが懸念されています。長年の課題である水質については、今年度から来年度にかけて、汚れの原因や仕組みを詳しくシミュレーション分析する取り組みが進められています。これが問題解決への大きな一歩となることが期待されています。



伊豆沼・内沼自然再生協議会の様子

山形県鶴岡市と青森県平内町でスワンププロジェクトの講演

2023年から始まったスワンププロジェクトは、ハクチョウの飛来地を中心に全国的に関心が高まっています。

1月17日に山形県鶴岡市の庄内自然博物館構想推進協議会主催による里地里山学特別講座で、2月14日には平内町主催によるハクチョウのまちシンポジウムでスワンププロジェクトに関する講演をさせていただきました。多くの方にご参集いただき、参加者はハクチョウ目線の画像の数々に見入っていました。

平内町でのシンポジウム後にはオオハクチョウの捕獲作業も行い、9羽のオオハクチョウにカメラ付きGPSロガー（スワンアイズ）を装着しました。

鶴岡市自然学習交流館「ほとりあ」での講演



平内町のシンポジウム会場での写真コンテストの展示



平内町浅所海岸のオオハクチョウ
浅所海岸は、国の特別天然記念物「小湊のハクチョウおよびその渡来地」として、全国のハクチョウ渡来地の中で唯一の天然記念物



スワンアイズを装着されたオオハクチョウのメス幼鳥

オオワシの飛来

オオワシ（右端）とオジロワシ（左端）。中央の2羽はハシブトガラス。カラスと比べるとワシの大きさがよくわかります。

オオワシはロシア極東や日本にのみ生息し、世界的にみて限られた狭い地域に分布するワシです。国内ではオホーツク海沿岸域に分布しますが、冬になると本州中部まで南下します。宮城県では沿岸域で主にみられ、伊豆沼が凍結すると、沼でも時々みられます。

今冬は1月中旬以降の寒波によって沼が凍結し、2月5日に氷上にいたオオワシの成鳥を確認しました。ライギョを巡ってオジロワシ、ハシブトガラスと食物の取り合いをしていました。オオワシは1970年に天然記念物に指定されています。

伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンのお知らせ

開催日時 3月20日（金）春分の日

開会時刻：8時30分（小雨決行）

集合場所：鳥館、昆虫館、淡水魚館

※雨天の場合は、3月22日（日）に延期

◆事前申込にご協力ください。（申し込みは3月14日まで）

※申込書はホームページ及び鳥館などで配布するチラシに掲載



昨年のクリーンキャンペーンの様子



〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
指定管理者（公財）宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217
ホームページ：<http://izunuma.org/>
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp

